Sunhayato

製品安全データシート

１．化学物質等および会社情報

製　品　名　：　ドライエックス
製品コード　：　SX-250
整 理 番 号　：　SG043103
会　　　社　：　サンハヤト株式会社
住　　　所　：　東京都板橋区志村 3-26-19
担 当 部 門　：　研究開発本部　化学製品開発部
電 話 番 号　：　03-3965-6310
F　A　X　：　03-3965-6310
用　　　途　：　帯電防止剤
作　成　日　：　1998 年 3 月 26 日
改　訂　日　：　2008 年 2 月 26 日　REV. 1.11

２．危険有害性の要約

GHS 分類　：
眼損傷性／眼刺激性　区分２A-２B
生殖細胞変異原性　区分１B
生殖毒性　区分１A
標的臓器／全身毒性（単回暴露）　区分１（中枢神経系、腎臓、全身毒性、視覚器）
区分３（気道刺激性、麻酔性）
標的臓器／全身毒性（反復暴露）　区分１（肝臓、中枢神経系、視覚器）
区分２（神経、血管、肝臓、脾臓）

ラベル要素
絵表示又はシンボル　：

注意喚起語　：　危険
危険有害性情報　：　強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気またはめまいのおそれ
臓器（中枢神経系、腎臓、全身毒性、視覚器）の障害
長期または反復暴露による臓器（肝臓、中枢神経系、視覚器）の障害
長期または反復暴露による臓器（神経、血管、肝臓、脾臓）の障害のおそれ
注意書き　：　使用前に取扱説明書を入手してください。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用してください。
必要に応じて個人用保護具を使用してください。
屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないでください。
この製品を使用する時に、飲食またな喫煙をしないでください。
取扱い後は良く手を洗ってください。
国地域情報　：

３．組成、成分情報

単一製品・混合物の区分　：　混合物エアゾール製品

化学名	エタノール	ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ	メタノール	ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド
含有量（wt%）	5～10	<1	<0.5	<0.5
官報公示整理番号	2-202	2-207	2-201	2-2503,2-0827
CAS No.	64-17-5	67-63-0	67-56-1	68603-42-9
EINECS	200-578-6	200-661-7	200-659-6	271-657-0
輸出統計品目番号	2207.10.000	2905.12.000	2905.11.000	-
IMDG	3.2	3.2	3.2	-
国連分類	3	3	3	-
国連番号	1170	1219	1230	-
PRTR 法	非該当	非該当	非該当	非該当

化学名	HFC-134a ＜噴射剤＞
含有量（wt%）	80～90
官報公示整理番号	2-3585
CAS No.	811-97-2
EINECS	212-377-0
輸出統計品目番号	2903.30.250
IMDG	2.2
国連分類	2.2
国連番号	3159
PRTR 法	非該当

４．応急処置

目に入った場合　：　直ちに清浄な水で最低１５分以上洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗浄する。洗浄後、医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合　：　汚染衣服は直ちに脱ぎ、多量の流水で触れた部分を充分に洗い流す。必要に応じ医師の手当を受ける。

吸引した場合　：　直ちに空気の新鮮な場所に移し安静に努め、速やかに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合　：　直ちに水で口の中をよく洗浄させる。無理に吐かせず、速やかに医師の手当を受ける。交感神経系薬剤を使用しない。

その他　：　暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の手当を受ける。

５．火災時の処置

消火剤　：　粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡等

使ってはならない消火剤　：　棒状水

特有の危険有害性　：　高温の熱源に接触すると熱分解し、有害な塩化水素、ホスゲンなどのガスを発生する。

特有の消火方法　：　初期消火には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移す。移動

不可能な場所は、容器及び周辺に散水し冷却する。
消火を行う者の保護　：　消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。

６．漏出時の処置

作業の際は保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入したりしないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。付近の着火源を取り除く。関係者以外の立ち入りを禁止する。少量漏出の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量漏出の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。漏出液を下水や側溝等に流してはならない。

７．取扱いおよび保管上の注意

取　　扱　　い　：　吸入を防ぎ、眼、皮膚との接触を避ける。必要に応じて保護具を着用し、換気の良い場所で風上から作業する。密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。
保　　　　　管　：　容器を密閉し、換気の良い冷暗所に施錠して保管する。
安全な容器包装材料　：　国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

８．暴露防止および保護処置

管理濃度　：　200ppm（メタノールの情報を記載）
許容濃度　：　日本産業衛生学会　200ppm（メタノールの情報を記載）
　　　　　　　ACGIH TLV　200ppm（メタノールの情報を記載）
設備対策　：　室内での取扱いの場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明確に表示する。
保　護　具　：　有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

９．物理的および化学的性質

外　観　等　：　無色透明液体(原液の情報を記載)
臭　　　い　：　情報なし
p　　　H　：　情報なし
融　　　点　：　情報なし
沸　　　点　：　情報なし
引　火　点　：　なし
爆発限界　：　情報なし
蒸　気　圧　：　情報なし
蒸気密度　：　情報なし
比　　　重　：　0.785(原液の情報を記載)
溶　解　度　：　水；ほとんど不溶　その他；種々の有機溶剤と自由に混合
n-オクタノール／水分配係数　：　情報なし
自然発火温度　：　情報なし
分解温度　：　情報なし

１０．安定性および反応性

安　　定　　性　：　通常状態では安定である。
反　　応　　性　：　アルカリ金属と反応する場合がある。強酸化剤と反応する。
避けるべき条件　：　高温、酸化剤
混触危険物質　：　強酸化剤、アルカリ金属
危険有害な分解生成物　：　一酸化炭素、塩化水素、ホスゲン等

Sunhayato

１１．有害性情報

急　性　毒　性　：　経口ラット LD_{50}　13,700mg/kg（ｴﾀﾉｰﾙの情報を記載）
吸入ラット　LC_{50}/4hr　>500,000ppm（HFC-134aの情報を記載）
経口ラット　LD_{50}　13,000mg/kg（メタノールの情報を記載）
経口ラット　LD_{50}　3,437mg/kg（ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙの情報を記載）
皮 膚 刺 激 性　：　なし
刺 激 性 （ 眼 ）　：　ウサギで中等度～重度の刺激性の報告がある。（ｴﾀﾉｰﾙの情報を記載）
感　作　性　：　情報なし
生殖細胞変異原性　：　ラット及びマウスで優勢致死の報告、マウス生殖細胞における異数性誘発の報告がある。（ｴﾀﾉｰﾙの情報を記載）
生　殖　毒　性　：　アルコールの習慣的な大量摂取によりヒト胎児に対する奇形その他の悪影響の報告が多数ある。（ｴﾀﾉｰﾙの情報を記載）

特定標的毒性／全身毒性（単回暴露）　：　ヒトで気道刺激性、麻酔作用の報告がある。（ｴﾀﾉｰﾙの情報を記載）
ヒトで中枢神経系、腎臓の障害、全身毒性の報告がある。（ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙの情報を記載）
ヒトで中枢神経系及び視覚器の障害、全身毒性の報告がある。（メタノールの情報を記載）

特定標的毒性／全身毒性（反復暴露）　：　ヒトで肝臓、神経の障害の報告がある。（ｴﾀﾉｰﾙの情報を記載）
ヒトで中枢神経系、視覚器の障害の報告がある。（メタノールの情報を記載）

呼吸性呼吸器有害性　：　ラットで気管支内投与により心肺停止の報告がある。（ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙの情報を記載）

１２．環境影響情報

魚　毒　性　：　情報なし
分　解　性　：　情報なし
蓄　積　性　：　情報なし
オゾン層破壊係数　：　0（CFC-11=1）（HFC-134a の情報を記載）
地球温暖化係数　：　1,300（CO_2=1）（HFC-134aの情報を記載）

１３．廃棄上の注意

容器内の原液成分をすべて使いきり、火気のない屋外でガスを完全に抜いてから廃棄する。内容物や容器を指定廃棄物処理業者に産業廃棄物として委託する。

１４．輸送上の注意

国 連 分 類　：　クラス 2.2
国 連 番 号　：　1950
陸 上 輸 送　：　消防法、労働安全衛生法等の定めるところに従うこと。
海 上 輸 送　：　船舶安全法の定めるところに従うこと。
航 空 輸 送　：　航空法の定めるところに従うこと。

１５．適用法令

法令		内容	
消防法	：	非該当	
ＰＲＴＲ法	：	非該当	
労働安全衛生法	：	施行令第１８条の２　名称等を通知すべき有害物	
有機溶剤中毒予防規則	：	非該当	
船舶安全法	：	＜原液成分＞　非該当	
		＜噴射剤＞　危規則第３条危険物	高圧ガス
航空法	：	＜原液成分＞　非該当	
		＜噴射剤＞　施行規則第１９４条危険物	高圧ガス
港則法	：	＜原液成分＞　非該当	
		＜噴射剤＞　施行規則第１２条危険物	高圧ガス
輸出貿易管理令	：	非該当	

１６．その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。